

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2014年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

(1) 招集所は、第1ゲート（フィニッシュライン外側）に設ける。

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。

(3) 招集の方法については、次の通りである。

①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。
トラック競技のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。

②代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、補助競技場入口付近に設けるTIC（競技者案内所）に用意した書類で届け出る。

③招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

3 ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、3枚配布する。（胸・背・手荷物用）（競技規則第143条7、8を厳守）

(2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識（2枚）を招集時に配布する。

(3) 跳躍競技に出場する競技者は、胸または背につけるだけでよい。

(4) ナンバーカードとプログラムの配布については、次の時間帯にTICで行う。

5日（木） 9：00～15：00

6日（金）・7日（土）・8日（日） 9：00～17：00

4 競技場内への入退場について

(1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。

(2) 競技終了後は、競技役員の指示に従いミックスゾーンとPECRを通り退場する。なお、決勝において1～3位の競技者は、表彰者控え室に誘導する。

5 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

(1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、デイリープログラムに記載した順（棄権者を除いた競技者により大会前日のプログラム編成で決定）による。決定されたレーン順・試技順は、前日15時に番組編成掲示板（TIC横）に掲示する。

(2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、番組編成掲示板に掲示する。

(3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則第167条2）

6 競技について

(1) トラック競技について

①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。

②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。

③短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。

④競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

⑤スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）

(2) フィールド競技について

①投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。

②跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。

③棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。

④フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子11mの地点に設置する。

- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない(競技規則第144条3(b))。競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
- (4) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色(スタート動作時については黄黒色)カード、除外は赤色(スタート動作時については赤黒色)カードを示すことによって競技者に知らされる。
- (5) 棄権する者は、本選手権大会規定の「棄権届」に必要事項を記入し、次の要領で届けること。届けずに棄権した者は、本連盟、加入団体主催または後援する競技会に出場を認めない処置を講ずることがある。

①大会第1日目【6月6日(金)】に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月4日(水)9時~15時までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。

②大会第2日目【6月7日(土)】に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月6日(金)9時~12時(正午)までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。

③大会第3日目【6月8日(日)】に出場種目がある競技者が棄権する場合は、6月7日(土)9時~12時(正午)までに、下記の届け先までFAXで届け出る。FAX送信後、必ず電話で確認すること。

《届け出先3日間とも》

とうほう・みんなのスタジアム内 競技運営本部

※電話024-594-2877 ・ FAX024-594-2878

④大会1日目以降の棄権届出は、競技場内競技者案内所(TIC)でも受け付ける。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m20	2m25	2m28	2m31	3cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	1m86	1m89	
棒高跳	男子	任意の高さ	5m01	5m21	5m31	5m41	5m51	5m61	5m67	6cm
	女子	任意の高さ	3m60	3m80	3m90	4m00	4m09	4m15	4m21	

- (2) 棒高跳の公式練習について

- ①棒高跳に出場する競技者は、招集完了時刻(競技開始90分前)以前には競技場所に入場できない。
- ②公式練習はゴムバーで行う。
- ③任意の高さ及びアップライトの位置で試技順に2回行う。

8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、投てき用具リストにない投てき物の持ち込みを認めるので、希望者は各競技開始3時間前から2時間前までにTICに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」を提出する。受け付けた「投てき用具」については、「預り証」を発行する。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後にTICで「預り証」を確認のうえ返却する。

9 競技用靴について(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内(同一日に次のラウンドが行われる場合には15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人が、TICを通じて審判長に対して口頭で行い、控室で待機

する。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、T I Cを通じて上訴審判員に文書で申し出る。

1 1 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰台で行う。
- (2) 各種目の1位の競技者には、選手権章と賞状とメダルを、2位・3位の競技者には賞状とメダルを授与する。4位から8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 4位から8位までの競技者は、その種目の正式結果発表後30分を経過してからT I Cで賞状を渡す。
- (4) 最優秀選手男女各1名を表彰する。

1 2 ドーピングコントロールテストについて

(1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟ドーピング防止規則もしくは日本ドーピング防止規程にもとづいて行われる。なお、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿または血液（あるいは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。

(2) T U E申請

禁止表国際基準で定められている禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療目的使用に係る除外措置（T U E）”の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト（<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>）、または日本アンチ・ドーピング機構ウェブサイト（<http://www.playtinuejapan.org/>）を確認すること。

1 3 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したのものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は救護室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は、補助競技場クラブハウス内・特設テントで利用できる。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物についてはT I Cで保管する。保管期間は、6月8日競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度発表するが、T I Cに設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証」を希望する競技者は、T I Cに300円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」にもとづく。
- (10) 送付された棒高跳ポールの受け渡しは、T I Cで指示する。また、棒高跳ポールの返送（有料）は、競技終了後、T I Cに申し出ること。
- (11) 競技者及びコーチには、受付時に大会主催者申し合わせ事項によりI Dカードが渡される。コーチI Dカードについては、参加者1名は1枚、2名から3名は2枚、4名から5名は3枚、6名以上は4枚とする。I Dカードで行動できる範囲は、補助競技場、投てき練習場、観客席とするが、競技者は出場時のみ競技場内に入れる。I Dカード使用者は、場内を移動する場合は必ずI Dカードが確認できるように携帯する。
- (12) 提出書類は次のとおりとする。

	提出するもの	提出場所	提出時刻
①	棄権届	T I C	招集完了時刻まで
②	2種目同時出場届	同上	同上
③	投てき用具検査申請書	T I Cを通じて公式計測員に	競技開始2時間前まで
④	アップライト申告用紙	競技者係	点呼終了後すぐ
⑤	上訴申立書（預託金1万円）	T I C	競技規則第146条6による

1 4 練習について（練習会場注意事項）

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も利用できる。
- (3) 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。

(4) 会場内への入退場は、必ずIDカードを明示する。また、コーチは会場において、常にIDカードが確認できるように携帯する。

(5) 補助競技場での練習は、次のとおりとする。

①競走路の使用は、原則として以下の通りとする。なお、逆走は禁止する。

・1～2レーン：中・長距離

・3～6レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレートスタート地点）

※第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路にかけての7～8レーンは除く。

・7～8レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル

・7～8レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル

②跳躍種目の全てが練習可能である。

③投てき種目は練習会場使用日程通り、それぞれの種目の練習を行うことができる。

④6月7日(土)・8日(日)に限り、サブイベントの練習にも使用する。

ただし、担当競技役員の手配のもと、安全に十分留意して行うこと。

(6) 練習会場使用日程は次の通りとする。

		6月5日(木)	6月6日(金)	6月7日(土)	6月8日(日)
とうほう・みんなのスタジアム (本競技場)	トラック・跳躍	10:00-17:00	×	×	×
	棒高跳	10:00-17:00	×	×	×
補助競技場	トラック・跳躍	10:00-17:00	8:00-19:00	8:00-19:00	8:00-19:00
	棒高跳	×	女子 8:00-13:00 男子 13:00-18:00	男子 8:00-14:00	×
	砲丸投	10:00-17:00	8:00-18:00	女子 8:00-12:30 男子 12:30-18:00	男子 10:30-12:50
	やり投	10:00-17:00	男子 8:00-13:00 女子 13:00-15:00	8:00-18:00	男子 8:00-15:20
投てき練習場	円盤投	10:00-13:00	女子 9:30-12:30 男子 12:30-14:00	男子 8:00-11:30	×
	ハンマー投	13:00-16:00	14:00-18:00	男子 11:30-15:00 女子 15:00-18:00	女子 8:00-12:30

※6月5日(木)のトラック・跳躍練習は、スタート練習を含め10:00～17:00に、本競技場で行える。

※スタート練習について

・スタート練習補助を、5日(木)本競技場で福島陸協競技役員スターター(2名)によって下記のとおり行う。

○11:00から1時間程度 ○14:00から1時間程度

※投てき種目練習日程について

・投てき練習は、補助競技場(砲丸投・やり投)、投てき練習場(円盤投・ハンマー投)で行うことができるが、競技注意事項に記載した時間以外は認めない。